研修コード　F00-012

C－12	生徒が科学的に探究する高等学校理科の授業づくり

研　修　の　目　標	対　象　と　定　員
生徒が科学的に探究する授業となるよう、単元や授業をデザインするために必要な、自然の事物・現象についての専門的な知識を身に付け、高等学校理科の授業づくりについて理解を深める。	幼保認　小　中　(高)　特 教諭、講師（臨時）、 非常勤講師、理科実習助手 12名

受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。

日　　時	研　　修　　内　　容	指標における主な項目
7／25 （金） 10:00～16:15	**○生徒が科学的に探究する教材の工夫や授業の構想〈地学分野〉**（講義・演習）	教科等指導力②④
	○病原体の宿主細胞における多彩な生存戦略（講義） 東京薬科大学生命科学部　教授　新崎　恒平	教科等指導力②④
	○生徒が科学的に探究する教材の工夫や授業の構想〈生物分野〉（講義・演習）	教科等指導力②④

携　行　品	・「高等学校学習指導要領解説」理科編・理数編（平成30年、文部科学省） ・その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。
備　　考	新崎恒平教授の講義は、オンラインでの受講となります。
担当者からのメッセージ	令和７年度は、地学分野・生物分野に関する研修内容です。生徒が科学的に探究することを支援する授業づくりについて、協議や演習を通し考えます。 地学分野では、「科学と人間生活」の「（2）人間生活の中の科学　ア（ｴ）　宇宙や地球の科学」における宇宙分野に焦点を当てます。 生物分野では、「生物基礎」の「（2）ヒトの体の調節　ア（ｲ）免疫」に焦点を当てます。新型コロナウイルス感染症等の病原菌やウイルスが、どのようにして宿主細胞の機能をハイジャックしているのかについて、最先端の研究を交えながら、東京薬科大学　新崎恒平教授から高校生でも考えやすい内容で講義していただきます。生物が専門ではない方も楽しめます。

連絡先：教科・研究チーム　℡　(018)873-7203